

1. 大学 e ラーニング協議会/日本リメディアル教育学会

合同フォーラム 2021 (ご案内)

Society5.0 の到来により拡大した、国や地域を超えた社会的・経済的な結びつきを背景として、人々の働き方やキャリア、社会や人生の在り方に対する価値観は多様化しています。そのような変革の時代に求められる人材を育成することは、高大社連携における目標であり、社会的使命のひとつであるといえます。特に、連携の促進をもたらす ICT 活用教育は、コロナ禍により急速な広がりを見せ、多くの実践報告や効果の検証がなされました。これらの実績により、一時的な感染対応策ではなく、効果的な教育方略としての有用性が広く共有されるにいたりました。現在も、ブレンディッド、ハイブリッド、ハイフレックスといったさまざまなかたちで ICT 教育が実践され、DX 推進の流れを受け、世界的な発展を続けています。これら ICT 活用教育の進展は、効果的な高大社トランジションの推進力となるといえます。

こうしたことから、本総会・フォーラムでは、高大社トランジションを見据えた課題と ICT 活用教育のあり方について、情報の共有を図ることとし、特に、2 題の基調講演を軸としたプログラムとしております。基調講演は、桐蔭学園 理事長 溝上慎一先生による「高大社トランジションを見据えた教育と ICT 活用の推進と課題」、京都大学 松下佳代先生による「トランジションを見通したコンピテンシーの育成—対話型論証の活動を通じて—」となっており、ご講演後、溝上慎一先生、松下佳代先生、公立千歳科学技術大学の小松川浩先生によるミニシンポジウムを予定しております。

また、午前の事例発表会（第 2・第 3 部会の合同企画）では、ポストコロナを見据えたオンライン教育の方向性について、コロナ禍の経験を踏まえて会員大学よりご報告を頂きます。さらに、午後の最後のワークショップでは、当日会場にご参加される方々による意見交換を行います。コロナ後の授業対応や授業外でのコンテンツ利用など、会員の皆様から随時話題を提供頂きながら、各機関の課題の共有と解決案の検討を図っていく予定です。

本会の開催が、皆さまに幅広いテーマの研究や先駆的な実践事例、活発な意見交換等、多様な知見に触れる機会となることを期待します。

1) 合同フォーラム詳細

テ ー マ	高大社トランジションを見据えた課題と ICT 活用教育のあり方
主 催 ・ 共 催	主催：大学 e ラーニング協議会 共催：日本リメディアル教育学会
日 程	2022 年 3 月 8 日(火) UeLA & JADE 合同フォーラム/UeLA 総会/UeLA フォーラム
会 場	岡山理科大学 岡山キャンパス（〒700-0005 岡山市北区理大町 1-1 ）
対 象 者	大学 e ラーニング協議会加盟校教職員ならびに日本リメディアル教育学会 会員、教育関係者
案 内 ホ ー ム ペ ー ジ	https://ucla.jp/event/forum2021/
そ の 他	開催方法は現地開催と Zoom のハイブリットとなります。

2) プログラム

- 3月8日(火) 開催方法：現地開催と Zoom のハイブリット

午前の部：現地で発表

10:00～11:00	事例発表報告
11:00～11:20	開催校挨拶/大学 e ラーニング協議会 会長挨拶
11:20～11:50	UeLA 総会

午後の部：Zoom で発表

13:00～14:00	基調講演 桐蔭学園理事長 溝上慎一先生 「高大社トランジションを見据えた教育と ICT 活用の推進と課題」
14:00～15:00	基調講演 京都大学 松下佳代先生 「トランジションを見通したコンピテンシーの育成—対話型論証の活動を通じて—」
15:00～15:30	ミニシンポジウム 溝上先生 松下先生 小松川先生 司会：望月先生
15:40～17:10	UeLA & JADE 合同フォーラム（口頭発表）・各 20 分
17:10～18:40	第 1、2、3 部会合同ワークショップ

※発表は現地のもものと Zoom のものがありますが、聴講に関してはどちらにも対応しております。

3) 口頭発表

申込方法	下記申込ページより、発表タイトル（40 字以内）、発表内容要旨（200 字以内）を明記の上、お申し込みください。 https://ucla.jp/events/h20220308/#1607388092089-5ce0e56a-3689
申込〆切	2021 年 12 月 23 日（木）
予稿集原稿提出〆切	2022 年 2 月 8 日（火）

2. 協議会よりお知らせ

1) 共通基盤システム活用のご案内

協議会では、文部科学省の補助事業で行ってございました大学間共同教育連携事業の成果を引き継ぎ、本協議会会員向けサービスとして、基盤教育向けの e ラーニング教材の共同利用を開始しました。数学（中学・高校・大学初級）、日本語、SPI 対策をまずは利用できます。また、年内には英検対策（5 級から準 2 級）までの内容を整備します。

会員大学は、試験利用期間（1 年間程度）は無料で、本格利用に際しては年間 7 万円で、どの科目でも利用可能としています。詳しくは、下記までご連絡ください。

公立千歳科学技術大学 理工学部 教授 小松川浩 hiroshi@photon.chitose.ac.jp

公立千歳科学技術大学 理工学部 講師 山川広人 yamakawa@photon.chitose.ac.jp

2) 大学間連携 FD 研修 要請のご案内

協議会では、ICT を活用した FD 研修やシステムに関する利用説明に対する、大学間の調整を行っています。

上記の共通基盤を活用した事例の紹介、入学前教育の実践事例、反転学習の取組み、また、Moodle の運用方法等、連携大学が提供可能な情報について、講師派遣の形で、各大学の FD 研修などに派遣をいたします。

協議会 HP の「視察・講師派遣」ページをご覧ください、ご興味のある大学は、担当校 信州大学 新村（ucla-dispatch@googlegroups.com）までご連絡ください。

「視察・講師派遣」ページ：<https://ucla.jp/visit/>

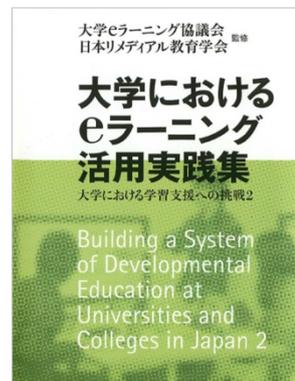
3. 書籍のご案内

当協会では、以下の書籍を監修しております。ご購入、図書館への推薦など、ご周知くださいますようお願いよろしくお願いたします。

■ 大学におけるeラーニング活用実践集 大学における学習支援への挑戦 2

日本リメディアル教育学会 (<http://www.jade-web.org/>) と本協議会が監修した書籍「大学におけるeラーニング活用実践集 大学における学習支援への挑戦2」が、2016年1月30日に、ナカニシヤ出版から発行されました。この書籍は、大学教育現場でのICTを活用した教育実践とアクティブラーニングを含む新たな教育方法、教育効果の評価に関する知見をまとめ、さまざまなノウハウとともに紹介したものです。

<http://www.nakanishiya.co.jp/book/b214708.html>



■ 大学初年次における日本語教育の実践: 大学における学習支援への挑戦 3

日本リメディアル教育学会と本協議会の協力により出版された書籍「大学初年次における日本語教育の実践: 大学における学習支援への挑戦3」が、2018年3月30日に、ナカニシヤ出版から発行されました。

この書籍は、大学教育現場である国立・私立・短期大学で、初年次教育に日本語教育を取り入れていくために必要な全学的な普及推進、科目運営、体制、ICT活用を含む実施方法などを具体的な事例も踏まえて紹介、教育方法、教育効果の評価に関する知見をまとめ、さまざまなノウハウとともに紹介したものです。

<http://www.nakanishiya.co.jp/book/b353169.html>



4. 事務局からのご案内

■ 加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡ください。

協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニューズレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

大学eラーニング協議会ニューズレター NO.23

発行：大学eラーニング協議会 事務局

発行日：2021年12月13日

お問合せ：office@ucla.jp